

つるおか1日乗り放題券

エリア別大人料金

鶴岡市街地エリア 500円

湯野浜・湯田川エリア 1,000円

鶴岡全域エリア 2,000円

ICカード (cherica, Suica, PASMO) のみ利用可能!

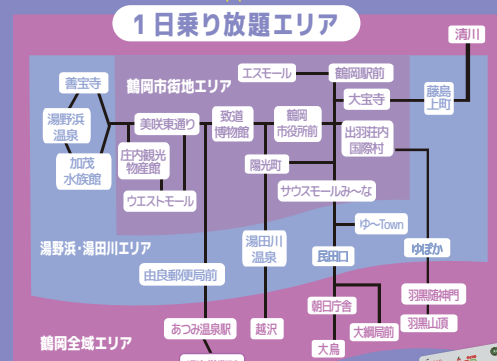
乗り放題券のご購入は、バス車内のみです。乗務員にお声がけください。

※chericaの購入は販売窓口のみとなります

■ICカード1枚につき1名となります

■小児割引をご利用の場合は小児カードをご持参下さい

■障がい者割引はありません



※高速バス・庄内空港連絡バス・季節運行の区間(羽黒山頂～月山八合目)臨時運行のバスなどは使用できません。

※鶴岡市内循環バスもご利用いただけます。

鶴岡市内循環バス

運賃/1回乗車 300円

- 小人(小学生)半額(6歳～12歳未満)
幼児 大人・小人1人につき1人まで無賃。2人目からは小人運賃。
乳児 無賃(満1歳未満)

1日2回以上の利用ならつるおか1日乗り放題券がおトク!



土日祝も運行します



コードをスキャンして つるおかの魅力発見!

つるおか観光ナビ



致道博物館



御隠殿 / 多層民家の情報はこちらから!

旅手帳 かおるつるおか デジタルガイドブック



大督寺



音声でご案内

鶴岡市観光案内所

◆当案内所は鶴岡駅前のFOODEVER(マリカ東館1階)に拠点を構え、英語で対応可能なスタッフが常駐しております。(JNTO認定外国人観光案内所カテゴリーII)

レンタサイクル (所有台数20台)

3月中旬～11月下旬 9:00～17:00

☎0235-25-7678

【開所時間】 9:00～17:30

【定休日】 なし(FOODEVERに準ずる)



つるおか観光ナビ案内所

鶴ヶ岡城下絵図

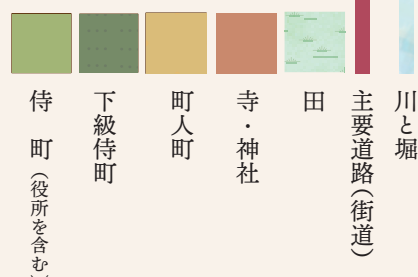
(約200年前)



文政年間鶴ヶ岡城下絵図 参照

江戸時代の町名

当時の町が果たしていた役割や、そこに住む人々の職業によってつけられた町名が多くあります。今の商店街のような役割「市」の立つ日によってつけられた町名(一日市町や荒町など)、職人の町(鍛冶町など)、お城の周囲には殿様に仕える人々がくらす侍の町(家中新町や馬場町など)がありました。その後町名は移り変わりましたが、一部の町名は現在でも使われています。



木戸とは

隣り合う町の境界、武家町、町人町の境界または町と在との境に設けられた保安用の門のこと。この木戸の通行は厳重で三人の番人が昼夜を通して怪しい者や、不審な荷物が通らないか見張り、他地方の人々はもちろんのこと、鶴岡の町民でもみだりに通ることは出来ませんでした。

鶴岡市観光ガイドのご案内

限られた時間を有効に使って鶴岡の町を楽しみたい! そんな方には、観光ガイドがお手伝いします。

【料 金】 ガイド1名につき1,000円(税込)

【案内地域】 鶴岡公園周辺

【時 間】 9:00～17:00(最大2時間) 年未年始(12/29～1/3)を除く毎日

◆希望日の5営業日前までお電話でお申し込みください

受付窓口/鶴岡市観光ガイド協議会事務局(鶴岡商工会議所内) ☎0235-24-7779 (受付専用/平日9:00～17:30) FAX.0235-24-6171

《2時間コース例 A》

- 鶴岡観光プラザ(鶴岡商工会議所会館1F)
鶴岡カトリック協会 天主堂(無料)
丙申堂・釈迦堂(有料)
荘内神社宝物殿(無料)
藤沢周平記念館(有料)
致道館(無料)

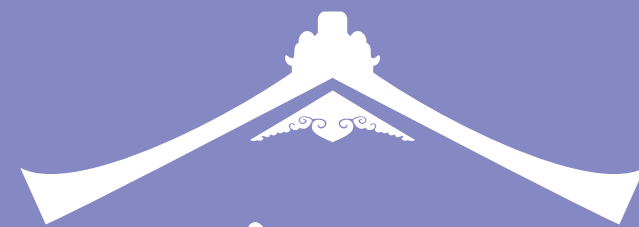
《2時間コース例 B》

- 鶴岡観光プラザ(鶴岡商工会議所会館1F)
致道館(無料)
致道博物館(有料)
大宝館(無料)
鶴岡公園

鶴岡観光プラザでは旅のご案内や荷物のお預かりサービスも行っています。(9:00～17:30)

※藤沢周平ゆかりの地を巡るコース(徒歩または車)もございます。 ※大型バス等の待ち合わせ場所についてはご相談下さい。

見どころ案内版



鶴岡 まちなか散策

今も殿が暮らすまち 城下町つるおか



中心市街地エリアMAP

鶴岡のまちの成り立ち

鶴岡市は、江戸時代に最上氏により最初の町割りが行われました。元和8年、徳川四天王筆頭の酒井忠次公を祖とする三代目忠勝公が庄内藩に入部、酒井家十四万石が置かれ城下町の形がほぼ完成しました。明治維新後のまちづくりでは城郭が開放され神社や公園になりその周辺には郡役所や町役場、朝陽学校などが建てられ、お城に代わる新たな鶴岡の中心が出来ました。江戸時代の町人地はそのまま商業地となって栄えましたが、大正8年に中心部の北側に鉄道駅が設置されると、駅前へ道路が整備されその道路に沿って商業地も拡大しました。鶴岡のまちの中心部は、今でも江戸期の姿をよく残し、古い街並みは城下町としての趣を感じることができます。そして、酒井家が庄内に入部し令和4年で400年を迎えました。入部以来、現在もなお鶴岡に暮らし続け「殿はん(さま)」と慕われ続けております。

この辺は城下でも高燥の地で洪水による浸水の心配がないことから、庄内に入部した酒井忠勝が鶴岡城拡張整備の際に仮御殿「高畑御殿」を建てたそう。

内川ほととパーク
桜や杉並木、内川の眺望が楽しめる公園。公衆トイレは大正9年に消防組第8部のポンプ庫を利用している。

鶴岡公園の桜
「日本さくら名所100選」に選ばれた園内には710本の桜があり、4月上旬～中旬に見頃を迎える。

花のあと〜以登女物語〜
お城の二ノ丸 鶴岡公園

1688年に建てられ、周りでは幾度も火災があったが、一度も被害に遭わなかったため火伏稲荷として信仰されている。

この私設学校で昼食を出したことが学校給食の始まりといわれ、「学校給食発祥の地」の記念碑がある。

「土屋両義士相討之地」の舞台になったお寺。実際に起きた仇討ちの現場で、仇を討つ方も討たれる方も亡くなったといわれている。

のぼりを管理する旗奉行が住んでいたそう。

光明寺
樹齢400年と推定される松は、盆栽の松が育ったもの。4月は枝垂桜が咲く。

加藤清正の妻と子のお墓があります。

「だるま市」(12月17日)は藩政時代、遊郭の遊女たちが幸せを願い、観音様に願をかけて「七転び八起き」のだるまを買求めたことがはじまり。

最上義光が寄進した鐘は見事。日本最古の塔時計もある。

鶴岡唯一の映画館
鶴岡まちなかキネマ
昭和初期建築の木造工場をリノベーションした映画館。木のぬくもりを感じながらくつろげる、まちなかのオアシス空間。

羽黒山一の鳥居跡
昔この辺り一帯は川原で、羽黒山に向かう一番最初の鳥居があった場所。鳥居町という地名の由来になっている。

三井家蔵座敷
豪壮な蔵座敷は土蔵造り二階建て。座敷ということで、蔵の中は畳。(鶴岡市有形文化財)

ハナミズキ並木道
4月上旬 5月中旬が見頃。

- 飲食店
- カフェ/お菓子屋/パン
- ♿ トイレ
- ATM
- P 無料駐車場
- P 有料駐車場
- 🏛️ 史跡・旧跡
- 🏯 神社仏閣
- 🚏 バス停
- 🏠 「藤沢周平 その作品とゆかりの地」案内板設置場所 藤沢周平®

※ランチタイムの営業を行っているお店を掲載しています。

